

豊中市告示第291号

豊中市公共下水道事業業務状況の公表

豊中市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例（昭和41年豊中市条例第46号）第8条の規定による令和4年10月1日から令和5年3月31日までの業務状況を、次のとおり地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2の規定に基づき公表します。

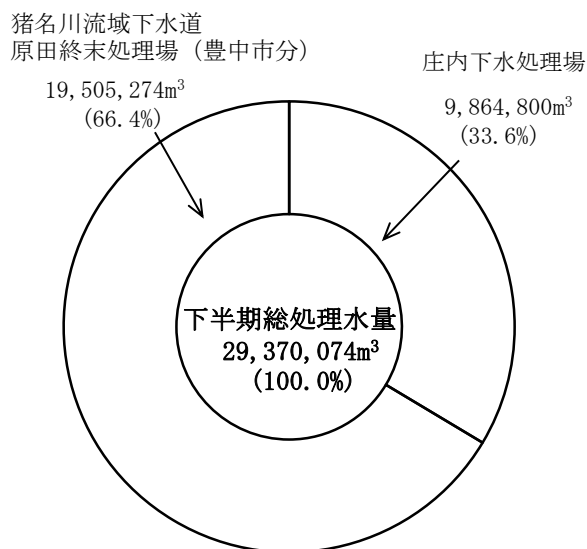
令和5年6月1日

豊中市長 長内繁樹

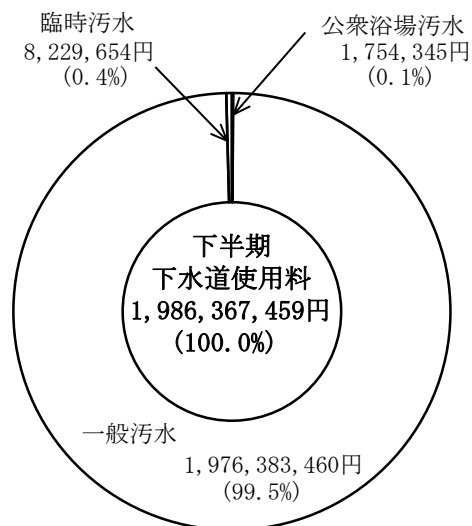
令和5年(2023年)3月31日 現在

排水人口	399,011人
処理可能区域人口	399,011人
処理可能区域戸数	179,176戸
年間総処理水量	63,242,979 m ³
一日平均処理水量	173,268 m ³

下半期総処理水量とその区分



下半期下水道使用料収入



令和4年度(2022年度)下半期予算の執行状況 (消費税及び地方消費税込み)

収益的収支

収入 7,182,517,528円 13,876,628,983円

予 算 費 目	下 半 期 予 算 の 執 行 状 況												累 計
	0	5億	10億	15億	20億	25億	30億	35億	40億	45億	50億	55億	
営 業 収 益	下水道使用料 1,986,367,459円												3,986,686,899円
	雨水処理負担金 1,267,628,485円												2,702,734,485円
	流域下水道原田終末処理場 受託管理負担金収入 1,503,377,298円												3,153,814,141円
	流域下水道終末処理場 建設受託事業収入(繰越分含む) 1,275,423,207円												1,793,886,207円
	空港滞留施設受託 管理負担金収入 11,555,544円												11,555,544円
	手数料収益 80,000円												558,000円
	その他営業収益 2,355,730円												2,355,730円
営 業 外 収 益	受取利息 410,697円												414,341円
	他会計補助金 94,794,295円												172,352,795円
	消費税 18,045,449円												18,045,449円
	長期前受金戻入 1,019,491,340円												2,025,352,059円
	雑収益 2,988,024円												8,873,333円

支出 8,416,266,892円 13,258,201,597円

0 5億 10億 15億 20億 25億 30億 35億 40億 45億 50億 55億

営 業 費 用	職員給与費 677,424,689円												1,067,830,909円 (うち退職給付費) 126,788,499円)
	減価償却費 2,163,173,196円												4,328,758,529円
	その他(繰越分含む) 5,405,093,757円												7,509,673,837円
営 業 外 費 用	支払利息及び企業債取扱諸費 170,345,339円												348,393,200円
	雑支出 229,911円												3,545,122円

0 △5億 △10億 △15億 △20億 △25億 △30億 △35億 △40億 △45億 △50億 △55億

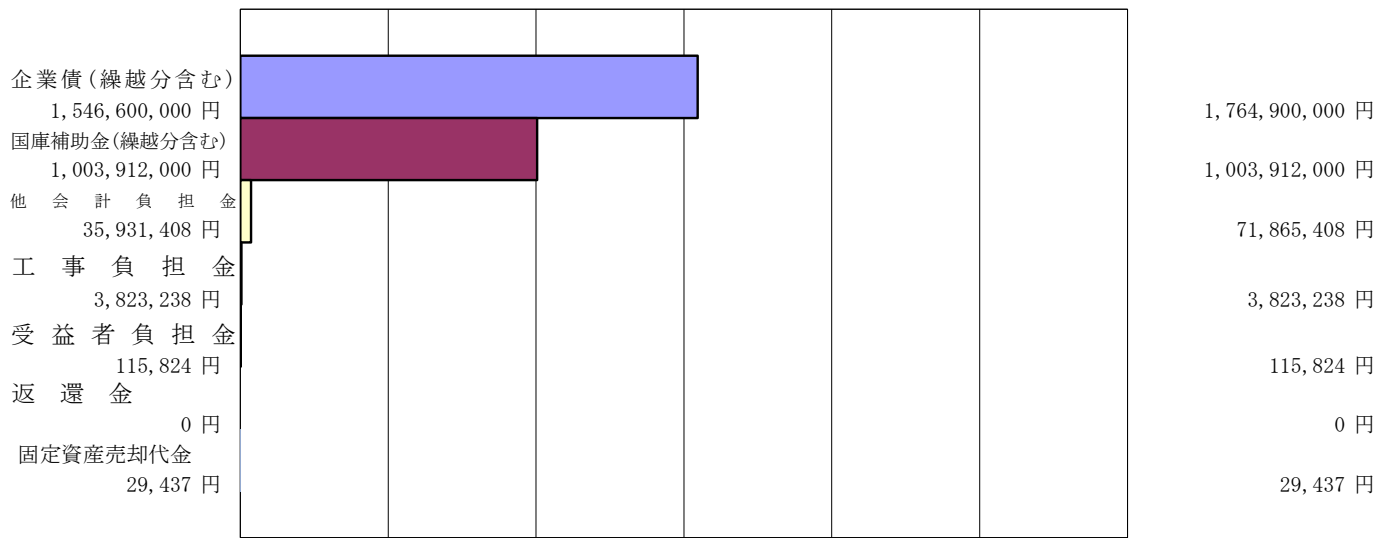
差引額 △1,233,749,364円 618,427,386円



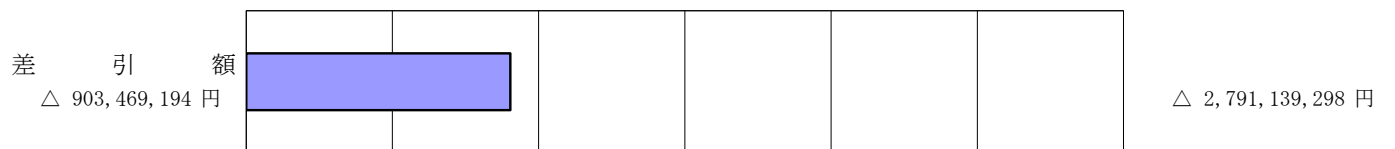
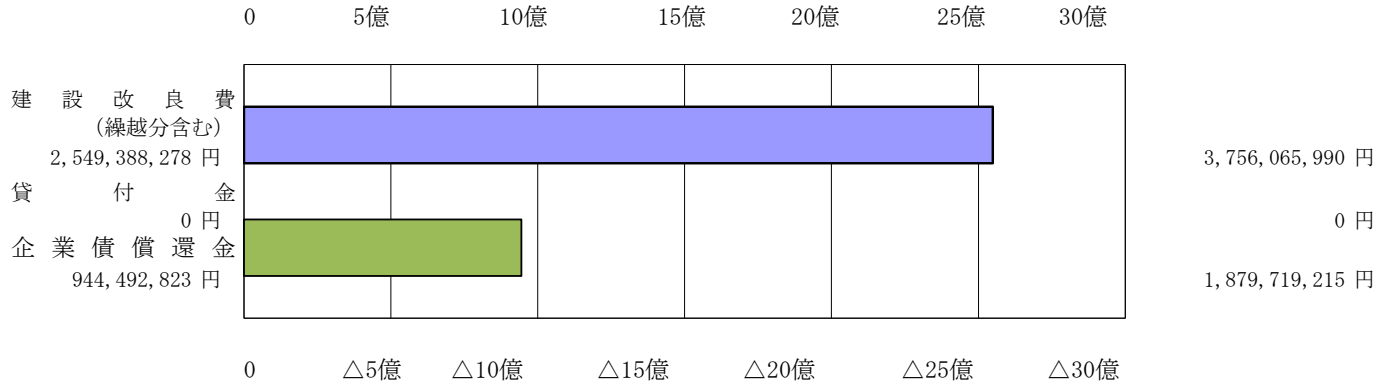
資本的収支

収入 2,590,411,907円 2,844,645,907円

予算費目	下半期 予算の執行状況						累計
	0	5億	10億	15億	20億	25億	

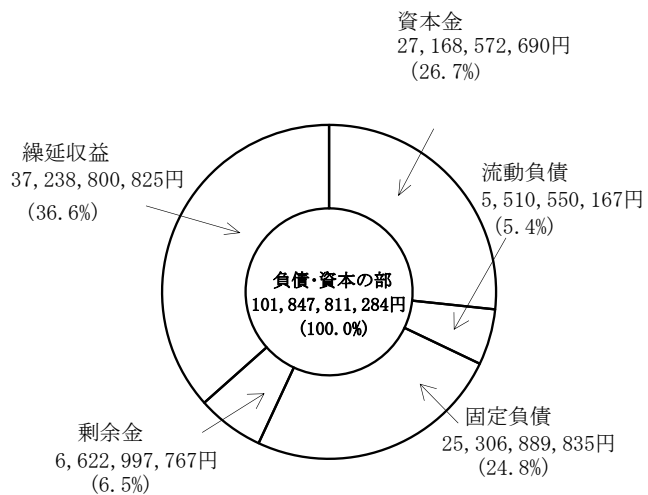
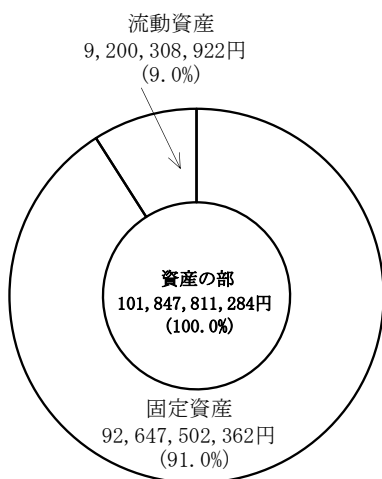


支出 3,493,881,101円 5,635,785,205円



貸借対照表(消費税及び地方消費税抜き)

[令和5年(2023年)3月31日現在]



企業債現在高
一時借入金現在高

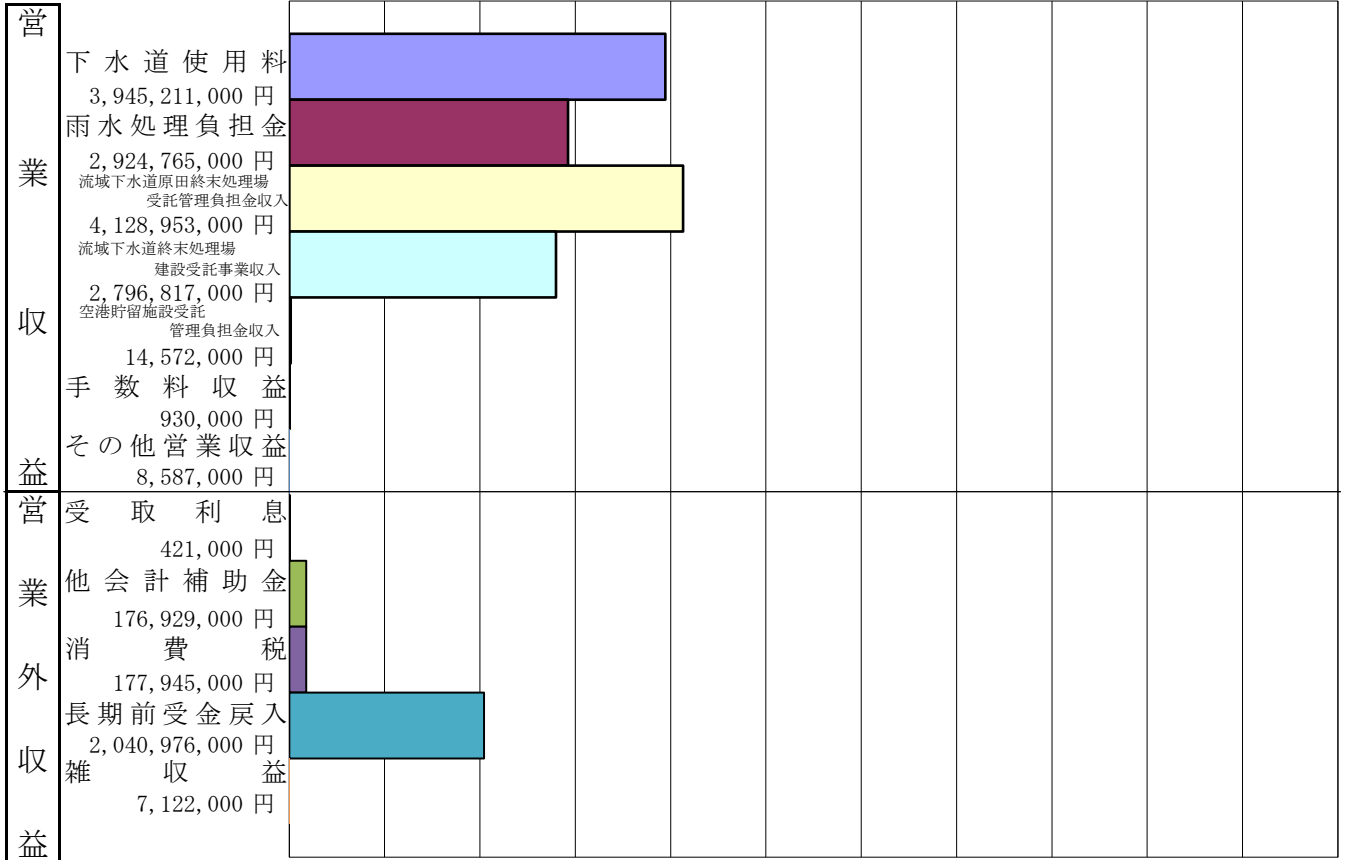
26,598,729,395円
0円

令和5年度(2023年度)予算の状況 (消費税及び地方消費税込み)

収益的収支

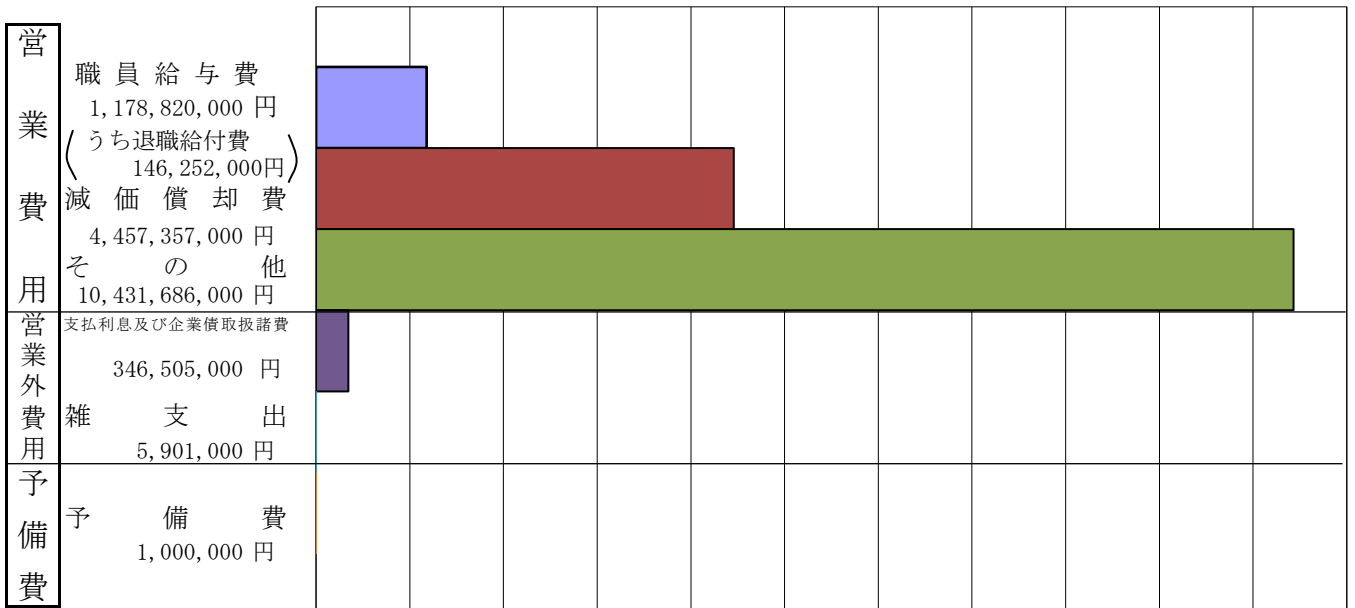
収入 16,223,228,000 円

0 10億 20億 30億 40億 50億 60億 70億 80億 90億 100億 110億



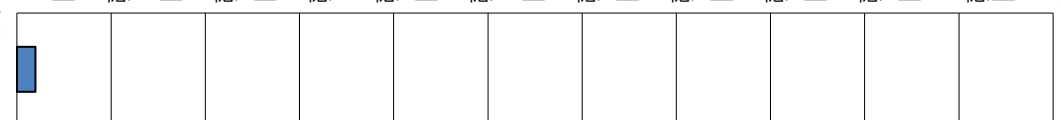
支出 16,421,269,000 円

0 10億 20億 30億 40億 50億 60億 70億 80億 90億 100億 110億



差引額 △198,041,000 円

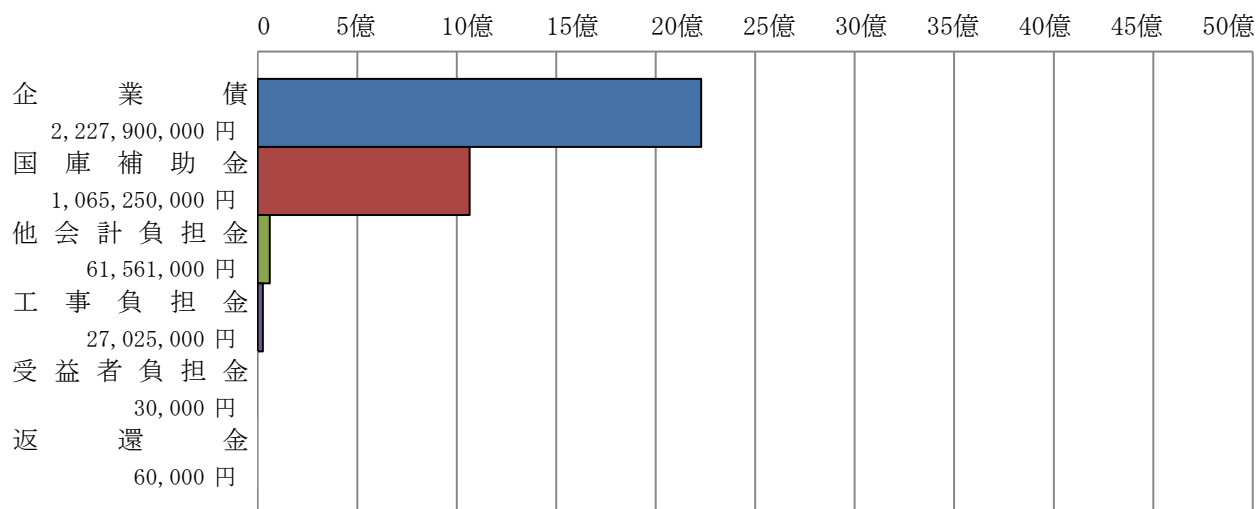
0 △10億 △20億 △30億 40億 △50億 △60億 △70億 △80億 △90億 △100億 △110億



資本的収支

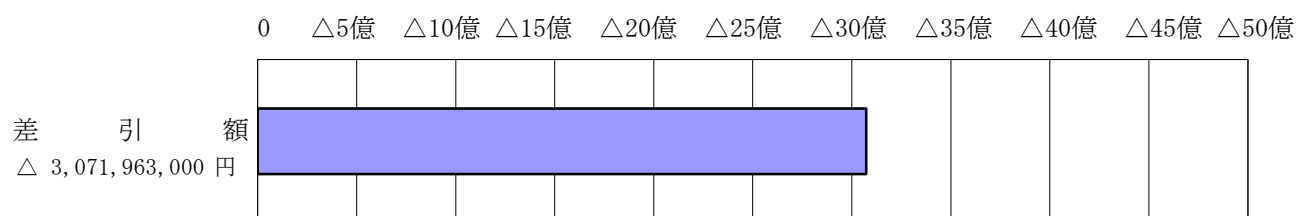
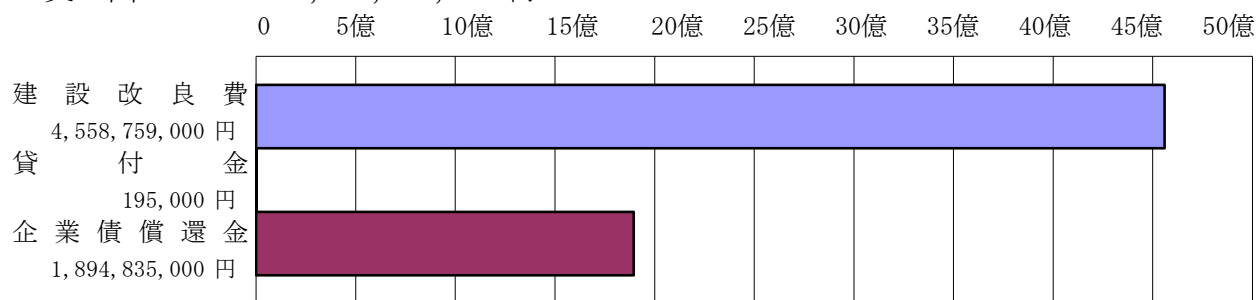
収入

3,381,826,000 円



支出

6,453,789,000 円



令和5年度（2023年度） 経営方針

上下水道局は、「第2次とよなか水未来構想」に掲げた6つの目ざすべき将来像の実現を使命としています。令和5年度の予算編成においても、6つの将来像の実現に向け、上下水道施設の計画的かつ持続的な維持管理・改築更新および技術の継承に努めながら、私たちの暮らしや産業活動に欠くことのできないライフラインとしての機能確保を図ります。あわせて、効率的な事業運営や人材育成に努めながら、お客さまの視点に立った持続可能な経営基盤の確立をめざします。

〈水道事業会計〉

令和4年度決算は、466,326千円の純利益を確保することができ、資金剰余額は、対前年度比3.2%減の4,126,322千円となる見込みです。

収入については、対前年度比で有収水量が687,787 m³の減、給水収益は105,237千円の減となっており、水需要の減少等により、収益の根幹となる給水収益は引き続き厳しい状況が予想されます。

費用については、管路の更新、管路の耐震化など老朽化した施設の更新に、関して必要となります。

限られた財源を計画的かつ効率的に活用し、安定給水を確保していくため、事業を着実に進めていきます。

〈下水道事業会計〉

令和4年度決算は、291,562千円の純利益を確保することができ、資金剰余額は、対前年度比5.4%増の5,584,593千円となる見込みです。

収入については、対前年度比で有収水量が769,439 m³の減、下水道使用料が33,855千円の減となり、水道事業会計と同様に、引き続き厳しい状況が予想されます。

費用については、浸水対策、老朽化した管路の改築などに関して必要となります。

限られた財源を計画的かつ効率的に活用し、下水道を持続・強化していくため、事業を着実に進めていきます。